

LPガスとカーボンニュートラル

多発する気象災害 CO₂削減が急務

近年の夏季は暑さが厳しく、「記録的な猛暑、熱中症に注意」などの言葉を毎年のように耳にします。気候変動による気象災害が多発しており、豪雨による河川の氾濫や浸水被害など、国民生活に大きな影響を及ぼしています。

こうした気候変動は、私たちの経済活動や日常生活の中で排出している二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスが主な原因とされています。将来にわたり持続可能な社会を実現するため、温室効果ガスの排出削減に向けた取り組みが急務なのです。

2050年カーボンニュートラル

2020年10月、政府は「2050年カーボンニュートラル」宣言を発出しました。カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量から植林・森林管理等による吸収量を差し引いて実質ゼロにするもので、政府は省エネを徹底し、また、再生可能エネルギーを最大限に利用するなどの対策を通じて実現していく方針を示しました。

そのためのステップとして、2030年度に2013年度

比で46%の温室効果ガス排出を削減する目標を掲げています。

グリーンLPガスの社会実装へ

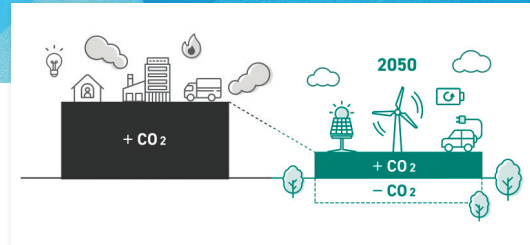
LPガス業界もカーボンニュートラル実現に向け、さまざまな取り組みを進めています。

水素と炭素のプロパン合成やバイオ資源の活用など、化石燃料に由来しない新しいLPガス「グリーンLPガス」を開発し、早期の社会実装を目指しています。将来的には現在のLPガスをグリーンLPガスで代替し、LPガスの脱炭素化を図っていきます。

カーボンニュートラルLPガスを普及

これと並行して「カーボンニュートラルLPガス」の普及を進めています。これはLPガスの生産から燃焼して使用するまでの全工程で発生する温室効果ガスを、世界の森林保全プロジェクト等による排出削減効果で相殺したLPガスです。

LPガス事業者は従来のLPガスに代えて、カーボンニュートラルLPガスの普及を推進しており、地球に優



出典:環境省

しいエネルギーLPガスを、よりクリーンにする取り組みを進めています。

家庭でできるCO₂削減

LPガスを利用して、私たちの家庭でできるCO₂削減もあります。

エネファームやハイブリッド給湯機、エコジョーズといった高効率給湯機はエネルギー効率に優れ、これらを利用することで家庭の省エネとCO₂削減に貢献します。

「地球に優しいエネルギーで快適な暮らし」

これが、これからのライフスタイルです。

LPガス
人と地球にスマイルを

日本LPガス団体協議会

